



中部ブロック



発行人：伴 信太郎
 事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
 名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻
 総合診療医学 内
 Tel.052-744-2951 Fax. 052-744-2951
 E-mail:nobuban@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.22(2018.06) 本号の編集担当者 林 寛之

【支部情報】

1)『中部ブロック新専攻医オリエンテーション』

2018年4月29日(日)10:30-14:00 場所:名古屋大学医学部 鶴友会館
 新専攻医 18名(中部地区全体の新専攻医の総数は24名)を含む総勢42名の参加を得て盛大に開かれました。本企画は新専攻医がスムーズに研修に入れるように、昨年度より各支部で企画運営されています。専攻医が研修を乗り切るためのサバイバル術の伝達(情報伝達)、各プログラムの専攻医同士の交流、総合診療に関する学習の3点を目的として、「振り返りの達人はポートフォリオが得意(講師:近藤諭先生、近藤啓太先生)」、「生涯教育のススメ(講師:田中久也先生)」、「研修手帳活用術(講師:森永太輔先生)」の3つのセッションとそれに引き続き懇親会が行われました。事後アンケートでも、「サバイバル術を獲得できた」、「交流を通して仲間ができた」、「勉強になった」という回答が大多数を占め大変好評でした。(文責:宮崎景)



2)『EBM ワークショップ:論文を読まずに EBM を実践しよう』

2018年4月29日(日)14:00-17:00 場所:名古屋大学医学部 鶴友会館
 同日午前に開催された「中部ブロック新専攻医オリエンテーション」とのジョイント企画として、プライマリ・ケア連合学会 EBM プロジェクトチームの南郷栄秀先生と五十嵐俊先生を講師に招き、EBM ワークショップが開催され、専攻医、指導医を含め41名が参加しました。実際のシナリオをを使いつつも、疑問の定式化から、検索、批判的吟味、患者への適応も含め網羅的なワークショップでした。英語の論文が苦手な医師、忙しくて原著論文に目を通す暇がない医師でも、効率的に情報を収集する具体的な方略を提示した内容に、大いに盛り上がりました。事後アンケートでも EBM に対する苦手意識の解消、理解の深まり、明日から使えるような実践的な内容への高評価が目立ちました。(文責:宮崎景)

3)『第7回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会』

2018年11月25日(日) 場所:AOSSA(福井市地域交流プラザ) <http://www.kouryu.fukui.jp/>

●東海家庭医療ネットワーク

今年度は2回カンファレンスを計画しています。第31回目となる今年度初のカンファレンスは9月に静岡県浜松市で開催予定です。今回は初の試みとして、静岡県支部会との合同開催となります。面白い内容になるよう企画を温めておりますので、ご期待ください。第32回カンファレンスは来年2月ごろ、愛知県内で開催予定です。こちらもお参加お待ちしております。いずれも詳細が決定次第、皆さんに告知いたします。(代表 田中久也)

●愛知県

【報告】

1)2018年3月3日(土)13:00-16:00 『ACCEL 2018 春』

場所:名古屋大学医学部 3号館会議室

ACCEL (Attractive Conference on Collaborative and Elaborative Learning for Senior Residents)は、名古屋大学総合診療科が主催する家庭医療専門医試験の受験申請に必要なポートフォリオ(PF)の作成を支援するためのミーティングです。

年4回開催。今回は総勢23名の参加者でした。外部からは、愛知県より1名、他県より1名の専攻医の先生、愛知県内の研修医の先生1名、鍼灸の学生さん1名にご参加いただきました。当科の高橋先生、安藤よりポートフォリオの書き方についてオリエンテーションを行いました。



【次回案内】

2018年6月23日(土)14:00~18:00 名古屋大学医学部 3号館会議室

特別ゲストとして日本医療福祉生協連合会の藤沼 康樹先生をお迎えします。詳細を知りたい方や参加をご希望される方は、名古屋大学総合診療科 HP <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/general/accel/> もご参照ください。コアレクチャーの概要も参照いただけます。

すべての家庭医療専門医プログラムの専攻医、指導医、多職種のオープン参加を歓迎します。また PC 認定医の受験や更新、家庭医療専門医更新で PF 作成が必要な方も是非ご参加ください。詳細は下記アドレスにお気軽にご連絡ください。

連絡先:名古屋大学医学部附属病院総合診療科(担当:安藤友一)E-mail:u1ando@med.nagoya-u.ac.jp

Tel & Fax:052-744-2951

●三重県**【報告】****1)2018年3月11(日)ポートフォリオ発表会を開催しました**

私達レジデントは、自身の成長のために“ポートフォリオ”というツールを使っています。うまくできた診療、逆にできなかった診療などを振り返り、何故そうなったのか、そうするのかをポートフォリオの上に起こしていくことで総合診療のロジックや、自身が無意識下に行っている行動の因果を明らかにしていきます。そんな私たちの成長の糧となるポートフォリオを、今回も半日かけて1人3症例、ご指導いただくことができました。ポートフォリオの共有は、レジデントの学習だけでなく、ご参加いただいた先生方にとってもよい学習機会になっているようで、事後のアンケートでは、多くの方から高い評価をいただいています。



多くの先生から、ポートフォリオを通じた成長をより効率的に行うための、画期的なご意見をいただきました。私達だけでは思い浮かばなかった素晴らしいアイデアをたくさんいただき、大変参考になりました。今後は、いただいた意見を元にレジデント内で工夫を重ね、次回の発表会ではさらに成長したレジデントの姿が見せられるよう、引き続き努力してまいります。

三重大学家庭医療学後期研修プログラム 専攻医 小野亮佑

2)2018年3月20日~3月23日フリンダース大学研修を実施しました

2018年3月20日~3月23日江角悠太先生、橋本修嗣先生、洪 英在先生(五十音順)の3名がオーストラリア、フリンダース大学のバロッサキャンパスを含む4つの地域キャンパスを訪問しました。

Greenhil 教授のご指導のもと、Parallel Rural Community Curriculum という地域臨床実習を見学し、地域で行われる医学教育、地域の参画や研究について議論をしました。

**【今後の活動】****1)2018年5月26(土)総合診療セミナー in 三重が開催**

日 時:2018年5月26日(金)18:30~20:30

場 所:三重大学 総合医学教育棟 2階 臨床第2講義室

三重県では総合診療のプログラムがすべて統一されさらにいいものを提供すべく取り組んでいます。

総合診療やプログラム、どのようなキャリアを進むのかを知る機会となりますので、興味のある方はぜひいらしてください。また総合診療のアプローチを学ぶ総合診療カンファレンスも予定されています。

参加費:無料 託児あり(無料) 17:30からは無料の懇親会も予定されております。

2)2018年6月1日(金)第18回三重プライマリ・ケア塾開催

日 時:2018年6月1日(金)18:30~20:30

場 所:三重大学 総合医学教育棟 2階 臨床第2講義室

講 師:小林 弘明 先生(福井県済生会病院 呼吸器外科・顧問)

内 容:誰も教えてくれなかった胸部画像の楽しみかた—正常像がわかると肺癌が見えてくる—

対 象 者:学部学生、研修医、大学院生、教員、医療者、その他の方の参加も歓迎

参 加 費:無料

3)2018年6月16日(土)~6月17日(日)第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会開催

日 時:2018年6月16日(土)~17日(日)9:00~20:30

場 所:三重県総合文化センター/Mie-Mu(三重県総合博物館)

テーマ :日本プライマリ・ケアの再出発

●岐阜県

【予定】

1)第39回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

日時:2018年6月8日(金)19:00~21:20 会場:岐阜グランドホテル

2)岐阜県支部立ち上げ準備会 日時:2018年6月29日(金)17:15~ 会場:岐阜大学医学部本館入札室

3)Point-of-Care Ultrasound(POCUS)コース 日時:2018年9月16日(日)13:00~17日(祝)13:00 会場:岐阜大学サテライトキャンパス(JR 岐阜駅前) 救急医療や在宅医療などで、医師が短時間で診断するための超音波検査のハンズオンセミナーです。参加申し込みは、以下のホームページで6月から公募する予定です。

<http://www.congre.co.jp/jshgm17/index.html>

●静岡県

【報告】

各地の活動

静岡家庭医養成プログラム

第9回家庭医療学学生ワークショップ「家で最期を迎えたい～広がる在宅医療の現場で～」

【日時】2018年3月10日(土)14:00~17:30

【場所】クリエイティブ浜松特別会議室



家庭医療学研修医ワークショップ【しずトレ2018】

極意を伝授！明日からの診療が変わる！日常診療への女性医療の統合！

Integrating women's health care into the current practice

【日時】2018年5月19日(土)午後

【場所】森町家庭医療クリニック

【企画者】鳴本敬一郎(静岡家庭医養成プログラム指導医)、棚橋信子(森町家庭医療クリニックスタッフ)

【目的】女性医療の視点を日常診療へ統合させることで、女性をより包括的にケアする

【学習目標】

1. 女性医療に関する基本的な病歴を聴き、解釈する(月経歴、性交渉歴)
2. 日常診療の中で、女性診療を意識的に実践する
3. 医師患者関係およびセンシティブな内容に配慮したコミュニケーション技能を実践する

当日は、初期研修医 3 名、医学生 2 名、専門医 2 名に参加があり、女性医療の基本的知識をどのように日常診療に導入していくか、模擬患者さんへの医療面接を通して体験して頂きました。女性医療とは関連がなさそうな主訴で来院した場合でも、様々な健康問題を把握し、真摯にケアしようとする気持ちを前面に出しながら、月経歴や性交渉歴について話を聴く姿勢や、診断まで至らなくても「あれっ？」と思えるアンテナが張られていることが、女性を生涯ケアしていくプライマリ・ケア医にとって重要であると感じてもらえたのではないかと思います。



静岡県立総合病院

第 14 回慢性期医療を考える会

日時：2018 年 3 月 16 日(金) 19:00～20:45、場所：もくせい会館1階 富士ホール

『 肺炎の予防と治療 ～肺炎診療ガイドライン 2017 を中心に～ 』

演者：独立行政法人国立病院機構三重病院 呼吸器内科 丸山 貴也 先生他一般演題

【予定】

第 6 回静岡プライマリ・ケアフォーラム・東海家庭医療ネットワーク合同開催

日時：2018 年 9 月 9 日(日) 13:30-17:00、場所：JR 浜松駅周辺

内容(予定)

第 1 部 ポートフォリオ・研究発表・活動報告、第 2 部 ワークショップや講演

終了後は懇親会を予定しています。平成 30 年度第 1 回静岡県支部地方会は東海家庭医療ネットワーク共同開催としました。ぜひふるってご参加下さい。

静岡家庭医養成プログラム

家庭医療学研修医ワークショップ【しずトレ 2018 第 2 弾】

極意を伝授！明日からの診療が変わる！ 救急外来から始まる高齢者医療のすべて！

【日時】2018 年 7 月 7 日(土) 13:00-17:30

【場所】菊川市家庭医療センター 〒437-1507 静岡県菊川市赤土 1055-1 ☎ 0538-85-1340

【対象】総合診療(家庭医療)に関心のある初期研修医および医師【定員】10 名【参加費】無料

【講師】静岡家庭医養成プログラム指導医

【目的】老年医学の視点から高齢者救急の外来・入院マネジメント、退院後の生活について学ぶ

【抄録】我々の静岡家庭医養成プログラム(SFM)では、「子宮から天国まで」をキャッチフレーズとして、あらゆる年齢・性別の方の健康問題や健康増進に取り組んでいます。中でも高齢者医療は、加速する日本の超高齢社会において、もっとも必要とされるものの一つと考えられます。高齢者は単に多数の疾患を合併しやすいだけでなく、加齢による認知機能の低下や筋力低下、転倒、ポリファーマシー、栄養、社会・介護の問題など様々な特徴があります。その高齢者に対する医療の特殊性から老年医学が発展してきていますが、日本の医学教育や初期研修では老年医学を体系的に学ぶ機会はいくつもありません。

そこで、今回はしずトレ 2018 第 2 弾として、老年医学の視点から考えた高齢者救急やそのマネジメントを学ぶワークショップを開催することにしました。また、そのワークショップの中では、老年医学の基本が学べるのはもちろんですが、それに加え、我々が特に重要と考えている高齢者における身体診察、診断推論、女性医療、感染症診療、リハビリテーション、退院支援、退院後のケアなどを、SFM 家庭医療指導医が出し惜しみなく伝授します！

静岡県支部の皆様へ

静岡県支部の連絡はすべてメールで行っております。今まで一度も連絡が来ない、最近来なくなったという会員の皆様はメール登録がされていない可能性がございます。学会本部事務局および北西(frisco アットマーク wonder.ocn.ne.jp)までメール登録をお願いします。

●石川県

【報告】

能登地域総合診療強化研究会 平成 30 年度クリニカルラウンド

第 1 回 テーマ『総合診療外来 次の一手！あなたならどうする？65歳男性の場合』

講師：公立穴水総合病院 小浦 友行 先生

日時：平成 30 年 5 月 23 日(水)19:00～20:00 場所：公立穴水総合病院 2 階会議室 参加者 30 名

【今後の予定】

今年度もクリニカルラウンドを能登北部 4 病院持ち回りで開催。各病院 2 回ずつ全 8 回を予定。



●富山県

【報告】

1)「地域の中で暮らし、地域で看取る～ホームホスピスでの実践を通して～」

講師：ホームホスピス宮崎 代表 市原美穂さん

日時：2018 年 4 月 19 日(木) 18:00～19:00 会場：富山市まちなか総合ケアセンター

ホームホスピスという空間において、生活のなかでの何気ない団欒、ナースコールがないところで気配を感じながら看取りのケアを行うヘルパーの方の医療的センスに磨きがかかっていくシステム等が紹介された。富山型デイサービスや行政、訪問看護師などの参加者があり、富山でのホームホスピス展開の礎となった。

2)とやま NANTO-RENKEI 総合診療医養成プログラム ポートフォリオ発表会 2018 第一回

講師：諏訪中央病院 内科 奥 知久先生

日時：2018 年 5 月 13 日(日) 10:00～16:00

会場：富山市まちなか総合ケアセンター

「suwa 家直伝！ポートフォリオの書き方ガイド」 「これで楽勝！リハビリポートフォリオ」と題してポートフォリオの書き方や家庭医・総合診療医としてリハビリの臨床に必須のフレームについて講演いただいた。



【予定】

1)亀田ファミリークリニック館山 岡田唯男先生講演会 テーマ：「FD・医学教育」(予定)

日程：2018 年 7 月 20 日(金)17:30— 会場：富山大学附属病院

2)更別村国民健康保険診療所 山田康介先生講演会 テーマ：「地域志向型ケア」(予定)

日程：2018 年 8 月 24 日(金)18:00— 会場：富山大学附属病院

3)平成 30 年度 第 2 回 とやまいびー(とやま多職種連携教育プロジェクト)

日程：2018 年 8 月 26 日(日) 会場：かみいち総合病院

●福井県

【報告】

1)ハーバード大イチロー・カワチ教授 福井大学大学院特別セミナー！

健康と社会の在り方を追究する社会疫学の父・ハーバード大学公衆衛生大学院社会行動科学学部のイチロー・カワチ教授をお迎えし、福井大学で特別セミナーを開催しました。講演では、健康を自ずと決めている「健康の社会的決定要因」や、人が健康行動をとる行動に迫る「行動経済学」、健康格差について、わかりやすくご講義いただきました。総合診療医も専門医も関心高く拝聴する、良い機会となりました。



2)実践×協働 健康のまちづくりアカデミー 第2期修了！

家庭医療専門医のコンピテンシーの1つである地域志向アプローチに通ずる「健康のまちづくり」。まちづくりを行う上で、医学系研究科だけでなく、工学系(環境工学)、教育学系、社会学系の関与は重要です。福井大学では、大学の全学部(工学部、教育学部、国際地域学部、医学部)の教員が「地域づくりコンソーシアム」を結成し、平成28年度より、全国の医学部のみならず全学部の学生・専門職による広域多職種連携教育をもとにした通年制のセミナー「健康のまちづくりアカデミー」を開講いたしました。今年度も昨年秋より、県内外から14名の学生・専門職が参加し、特別講義やワークショップを受講、この3月に自分たちで企画したイベントをまちなかで実践して、福井県高浜町を舞台に健康のまちづくりを楽しく学びました。“まちの気持ちかわかるまちの救世主”育成事業、今年度も継続して実施予定です。

<http://www.kenko-machizukuri.net/academy/>



【予定】

平成30年度第1回 福井県家庭医療ポートフォリオ発表会

日程:2018年6月10日(日) 会場:福井大学病院白翁会ホール

講師:ファミリークリニックなごみ 所長 長 哲太郎 先生(大阪家庭医療医療センター)

<支部運営についての情報>

- 各県の代表窓口は下記の方々です
三重県; 竹村洋典、富山県; 山城清二、石川県; 吉岡哲也、岐阜県; 森田浩之、愛知県; 伴信太郎、福井県; 林寛之、静岡県; 北西史直
- プログラム責任者の会中部ブロック代表; 大杉泰弘 (藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム)
- 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。
木村 悦子 (中部ブロック支部事務局) e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp